

odai

magazine



#20

おだいにまつわるエトセトラ

小台という場所の断片的なイメージから
小台をイメージするためのコーナーです

足立区の内陸と小台を結ぶ江北橋は、建て直される前には全国的に名のある心霊スポットだった。いつからそのことを認識したかはわからないけども、それが話題に上がっていたのを思い出すと、小学校のクラスの顔ぶれが浮かんでくる。

子供たちの生活圏内では特に内陸に用事もないからせいぜい橋の下にあったひょうたん池でザリガニを釣るくらいで渡るようなことはなかったものの、時々その話で盛り上がっていたような気がする。というのも、橋の柵はいつでも数箇所破られていて、そこを網で気持ち補修してするような状態がその橋の姿と記憶してしまうほど橋から何台も車が川に落ちていたからだ。実際には川に落ちてはいないかもしれないけども、

「こないだ落ちた車を見た」

と証言をするクラスメートもいたからそういうことにはしておこう。尤も、それを言った彼は目立ちたいが為に嘘をつくことがあった人物なので信憑性にはかけてしまう。

当時、母方の実家に家族揃って車で行くのに必ず渡る橋も江北橋だった。行きは明るくて、柵がポロポロなのもよく見える。新しい穴があれば車中の話題にあがっていた気もする。しかし、帰りには夜。橋が近づくと話を思い出す。心霊現象にはいくつか説があった。

ここで亡くなった女性の霊が突然走る車の前に現れ、運転手は慌ててハンドルを切って事故。

もしくはいきなり前に大きな穴が見えてハンドルを切って事故。

片道二車線のはずがもう一車線現れ、左の車線に移ろうとして事故。

真相は定かではないが、とにかくこの手のものが苦手だった私は帰り道に車がここを渡る時には息を止め、目を閉じていた。どこから得た知識が原因なのか、トンネルを通る時もそうしていた。幸い、私はこうして生きている。

橋は建て直され、今は柵に穴があくこともない。しかし、開通時から既に電灯がすべて灯らず、数年前に知人から夜中に通ったら、何か大きいものが水に落ちる音が聞こえたという話を聞いた。

TRIMMING



鮮やかな景色の理由

山本千晶

夏の気配を少しだけ感じる梅雨の前、ふと思いつき出す記憶がある。それは祖父が亡くなり忌引き休み明けに起こった出来事だ。近い記憶だと、大学3年生の6月。

私はいつものように通学路の川沿いを遅刻しないよう自転車で急ぎ、高架下に駐輪した。その時、いつもより周囲の景色が明るくコントラストが強いことに気づいた。駅に向かう足を止め見上げると、いつもより鮮やかな五月晴れの空が広がるように見えた。その鮮やかさは夏の始まりのようだった。しばらく立ち止まり、周囲を見ていたが、急いでいたことを思い出し、走って駅まで向かった。

電車に乗り込み落ち着き、景色を思い出すと葬式の慌ただしさから少し解放されたような気持ちになった。祖父が亡くなってから少し時間が経ったのだなと思った。

もしかしたら、この出来事を体験している人

るのではないかと思い友人に話してみた。友人はあまりぴんときていないようだった。

この鮮やかな景色は私だけに見えるものなのだろうか。仮説として、無意識に自分が見せているものだと考え、自分なりに解釈してみることにした。また、夏という季節に注目し①②③の理由を考えた。なぜなら、祖母が亡くなった時は、季節が冬だったにもかかわらず、同じような景色を目にしたことがあったからだ。

①時がたち少しだけ気持ちの整理がついたと言
う心情から、爽やかな夏の景色が見えた。

②落ち込んだ気分から明るい気分になれるよう、
夏の明るい陽射しの様な景色を無意識に作り
出した。

③私が「夏」生まれだから、夏にポジティブな
イメージがある。

その他にも色々な影響があるのかもしれない
が、③の要素が一番強いと考えた。

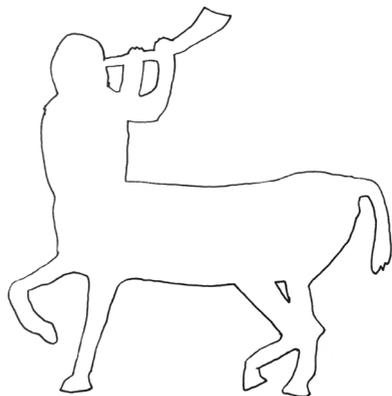
自分の生まれた季節が好きだと言う人がいる。
それはその季節が来る度に生まれ変わることができるという理由があるのではないだろうか。
一つ歳を重ねることで、前の年に積み重ねた後悔や失敗をリセットして、新しい気持ちになる

ことができる。お正月がだいたい晴れと思うのにも同じ理由があるのではないだろうか。つまり、私は祖父母との死別によって、新しい自分になる決意をし、無意識に自分の中で夏を作り出したのだ。

この経験しているのは私だけなのだろうか。考えれば考えるほど、本当か嘘かわからない記憶だが、コーヒーのあてに話し、同じ経験をした人を探してみたいものだ。



Always fresh life hack !!!



原動機付自転車の免許を取得するのに、
一万円。普通自動車運転免許を取得するのに、
数十万円。但し、普通自動車運転免許を取得
すると、原付の免許もついてくる。

いずれ、きっと、普通自動車運転免許は取得
するであろう。そうだったら、原付の免許に
一万円払うのばかばかしくないか？

と思ったわけです。

オマケじゃないの？

と思ったわけです。

オマケに一万円も払うの？だったら、オマケ
(原動機付自転車免許) めあてで、本体(普通
自動車免許) を手に入れよう、数十万円払っ
ても。そんなことを考えて、普通自動車免
許を取得したのが、大学生の頃でした。結局、
自動車を運転していたのは、会社員だった頃
に、営業のための社用車を運転していた時
くらいでした。別にオマケだけで、本体要らな
かったのじゃないか、と思います。いや、違う。
配属された時に「車の免許あるよね？」と当
たり前のように聞かれたので、やっぱり取得
してよかったのか。それとも、「免許ない
のかー。じゃあ、総務部に配置換え！」となっ
ていたのかもしれない。

話が逸れました。私がペーパードライバーと
いうことを言いたかっただけなのに、ここま
できてしまいました。

本題に入ります。

ペーパードライバーが自動車の運転の練習
をする時のライフハックです。

- ①車を購入して練習する。
- ②友人知人が所有する車を借りて練習する。
- ③レンタカーを借りて練習する。

このぐらいでしょうか。これ以外に解がある、
ということをお伝えしたいです。うわあ。紙
面が尽きる…。

次回に続きます。中途半端に紙面が余るので、
免許取得の時に学科試験で疑問に思ったこと
を書いて、濁らせませう、お茶を。

道路交通法には「軽車両」という括りがあっ
て、リヤカー、人力車、馬、などがそれにあ
ります。ケンタウロスは軽車両にあたるの
か、と疑問に思いました。濁ったでしょうか、
お茶。

春がやっと来た！と思ったのも束の間、もう初夏のように眩しい陽気の日が多くなってしまいました。早足に季節が進んでいるようで、少し焦ってしまいますね。中途半端な衣替えを経てより雑然としている我が家ですが、最近、近所でお値段も手ごろで種類も多い花屋さんを教えてもらったおかげでお部屋の一角にお花：という、ザ・女子力を発揮できるようになりました。鮮やかな色彩がちよっと部屋にあるだけでも心が弾むのに、近所の公園や道々でも花が一斉に咲き誇っていて、本当によい季節です。

いろいろな花が楽しめるこの季節にちなみ、花の名前がついた紙について書いてみることにします。まず、紙に名前があるんだ、と思う方もいらっしやるでしょう。国内だけでも数万種はあるといわれる紙、識別に名前が欠かせません。更に、同じ紙でも数種類の色がラインナップされていることが多いので、その紙ごと・色ごとに名前がきちんとつけられているんですね。その中で、万人が頭の中でパツとある程度近い色を思い浮かべやすいもの：として分かりやす

いからか、色名に花の名前がついた紙はとても多いんです。

ちなみに、わたしはこの紙の名前・色名が大好き。どんな由来なのか、どんな意味があるのか。はたまた名付けた開発担当者の想いや、抄紙現場のプロジエクト×的な工夫や苦労：あれこれ妄想してにやにやするのが超楽しい。名前の向こう側にストーリーを感じることにときめくんです。妄想に止まらず、その後にはちゃんと正式な由来も調べてみると、そこでまた新たな特徴や萌えポイントに気づけたりもするので、紙の楽しみ方のひとつとして全力でおすすめです。

話を戻しましょう。花の名前の紙、と言ってわたしがすぐ思いつのが『紀州の色上質紙』という紙です。チラシや雑誌・書籍、チケットなど、身近な紙ものに実はとても多く実は使われている紙なのですが、全33色のラインナップのうち、「さくら」「ラベンダー」、「スモ」：実に8色もの色に花の名前がつけられています。中でも個人的に特に注目してほしいのが「アマリス」という色名。他の紙ではあまり見かけない、ややピンクがかかった濃いめのオレンジ色につけられた名なのですが、これも花の名前です。みなさん知ってますか？アマリス。わたしは見たこともなく聞いたこともなく、紙の

見本帳ではじめて知りました。ただただ目にした色と、なんとなくリズムのいい語感、しかも花の名前からとっているらしい！という、なんだかときめくポイントだけを拾って、こんな不思議な色の花があるのか！と、それはもうわくわくでどんな花なのか調べてみたんです。

するとまあ、なんとということでしょ…。Google画像検索で出てきたのは、真っ赤に薄ピンクに白：紙のアマリリスとは全然違う色ばかり…。よくよく見ると、近い：かな：？という色もあるのですが、どうやら赤がポピュラーらしく…。もう、南国にだけ咲く珍しい奇跡のオレンジ：みたいなキャッチコピーを妄想していたので、紙と全然違うじゃん！と当時からがっかりしたんです。そもそもアマリスって聞いてぴんとこないわい！！知らんわい！！熟れた柿とか、いっそ濃オレンジのが分かりやすいわい！！！！

そんな感じであまりいい印象のなかった「アマリス」なのですが、数年後、色の奇抜さ故に『紀州の色上質紙』の中でもあんまり売れないんだよね…、とメーカーの人が寂し気につぶやいているのを聞いてからというもの、色上質の中だとわたしのイチオシは「アマリス」一択となりました。こう：弱いチームを応援した

日々是精進

杉浦俊介

いな：元々目につく特徴的な色を見て気になった紙だったのと、シリーズの中では後発で発売され知名度が低かったこともあり、知ってほしい一心でついつい事あることにおすすめてしまうようになりまして。がんばればアマリス！一回だけ街で使われているの見つけたよアマリス！語感すくいいよアマリス！靡色にならないでねアマリス！！（ゴリ推しの結果、一回だけ某百貨店のディスプレイで大々的に使ってもらえました。やったー！）

花の名前の紙、というファンシーな出だしだったのに、オチが謎の応援になってしまいました。が、こうやってその人ごとの経験とか想像とかを紐づけられるような、ちょうどよい余白があるのも紙のおもしろいところではないでしょうか。特徴や風合いにちなんだ名前がつけられているので、使う用途や出したいテーマがある時は、名前から紙を選ぶ、なんてやり方もおススメですし、わたしにとっては〇〇のイメージ、とか、この質感、まるで△△とか自分なりのテーマや印象で紙を見るのも一興です。とりあえず、花をテーマにしたものづくりや、ハツと目を惹く変わった色の紙をお探しのときは、『紀州の色上質紙』の「アマリス」をぜひ候補にしてみてくださいませうれいしです。わたしが。

日本ではあと1年も待たずに平成も終わろうとしている中、中東では私達のあまり知らない凄惨な争いが長いこと収束することなく依然続いている。パレスチナの大惨事（イスラエルという国の建国の年）から70年。ちょうどそのタイミングでアメリカ大使館が商業都市のテルアビブからエルサレムに移設された。抗議するパレスチナ人は発砲され次々と亡くなった。

日本では改ざんだの、アメフトだのという話題にニュースの多くの時間が割かれるけど、海外のことに関しては少なくともテレビでは昔からその瞬間くらいしか報じられない。だから海外のことを知る為にインターネットの力を借りる。この事件を受け、CNNという配給会社はパレスチナ映画を2本無料で配信をしていた。見ると、「なんでこんなこと……」の連続だった。弱い人間は自分や家族を守ろうと密告者となってしまい、殉教と言って死を恐れない者たちは爆弾を身に纏って敵陣に乗り込む。

彼らはこのような思想ではないけども、死だけは平等に訪れるという考えのもと、死も殺人も正当化されて自爆に至るらしい。とても考えられないことが平気で起こっている。自爆しに市街地に行くのを送るのがパレスチナ側から雇われたイスラエル人という関係も理解できない。誰もまともな判断をしていなくて、きつとそれが戦争なんだと思つた。

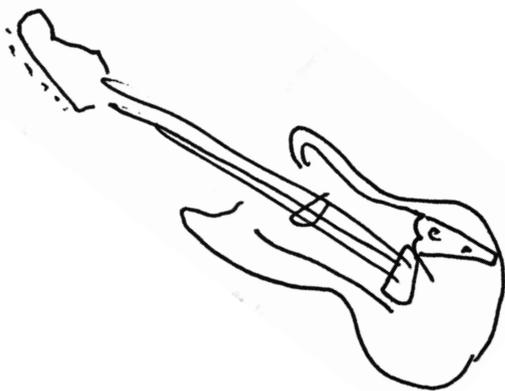
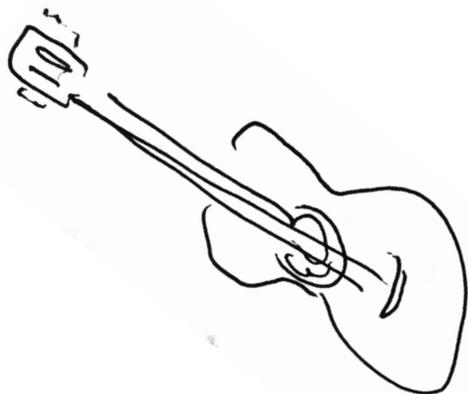
シリアの「ラッカは静かに虐殺されている」というドキュメンタリー映画も春に見た。ラッカはのに占拠された街で、当時殺害された日本人2名が拘束された場所もここだと認識している。家に家を追われて、殺される覚悟でスマートフォンで撮影した映像をネットに拡散して武力と戦う若者たちのドキュメンタリー映画。

こうやって大きな力に翻弄されて苦しんでいる人々がいるということは知っておかないといけない気がする。少なくとも知れて良かったと思つている。

ここまできて何を書いているのかわからなくなってしまうけども、知らないことが沢山詰まっっていて、自分の経験しない人生を垣間見ることが出来るから、色々な映画を見てみてはいかがだろうか。

斉藤友秋

スペインのギタリスト、ホセ・ルイス・ゴンザレスの録音を聴いた瞬間、その美しい音色に驚き、クラシック（ガットとも呼ばれる）ギターに魅せられ、それまで弾いていたエレキギターを弾く機会はめっきり少なくなつた。電氣を通されないエレキギターは寂しげだ。



或る日、体調を崩し病院に行くと、待合室でクラシックギターの曲集がかかっていた。演奏と音色が煩わしく、詰まらない音楽に感じ、徐々に不快感に変化した。体調を崩していたこと、病院の独特の密度の高い重々しい空気がそう思わせただのかもしれない。そのとき、永い夢から覚めるようにクラシックギターへの興味を失った。

ほんの数日でクラシックギターへの抵抗は不調と共に去って行ったのだが、その間に久々に電氣を通し弾きこんだエレキギターが楽しく、忘れていた独特の音色と音の伸び、さらさら感などに感動した。そして、弾き慣れたクラシックの曲をエレキギターで弾いてみると、まるで違った効果が浮かび上がり、演奏の可能性を感じた。アコースティックギターは、また違った感動を与えてくれるだろう。しかし、手元にはない。

無意識に物事に仕切りをつけていることがある。クラシックの曲はクラシックギターで弾かなければいけないと思っていたことはそのひとつだ。ただ、逆を行けばいいわけではなく、格好悪いのは嫌だ。

梅雨とテレビと盆踊り

鈴木雄平

やみそうに見えてもやまないものは

主の浮気と梅雨の雨（「梅雨」の小唄）

盆踊りという夏の風物詩で、7月13〜16日、もしくは8月13〜16日の盂蘭盆会をピークに、せいぜい夏休み期間中に踊られるものと言うのが世間一般の認識だと思つた。

だがしかし、盆踊ラーにとつてのシーズンは、梅雨の最中の6月13日から始まる。

これは、例年6月13〜15日に行われる赤坂日枝神社の献灯祭内で、「山王音頭と民踊大会」という盆踊り大会が行われるためで、これが盆踊ラーの公式開幕戦となっている。（「公式」というのは、これより先に開催される小規模会場もあるため）

オフシーズンの半年間を待ちに待った踊る阿呆ウ共が大挙して押し寄せ、会う人会う人で、「あけおめ」「ことよろ」とシーズン開始の挨拶が交わされる。

ところで、言わずもがな、盆踊りに雨は大敵。屋外開催の宿命ゆえ、盆踊りは当然ながら雨天中止。開始時間前に雨雲が抜けたとしても、

主催者判断で中止が決定されてしまう場合も多々あり、折角会場まで足を運んでも中止だった時はかなり凹む。

そんな中、雨でも開催される数少ない会場の一つに、この山王日枝神社での開幕戦も入っている。というのは、こちらの会場、神輿庫前の広場に櫓を設えて開催されるのだが、その広場全体を蔽うようにバカでかいテントが張られるのだ。

何が何でも盆踊りを開催しようという意気込み、なのかなのか、兎にも角にも盆踊ラーは雨でも何の心配もせずに日枝神社へ向かうことが出来るのだ。

梅雨時の蒸し暑さがテントで蓋をされ、決して広くない空間にギュウ詰めになった盆踊ラーどもが、熱を持って「心不乱に踊る様は、端から見ると（こうして改めて書き起こしてみても）異様以外の何でもない。その光景はまさに「踊る阿呆ウ」、一見の価値はある……かも知れない。

同じく梅雨時開催で雨天決行の盆踊りに、6月末の金土に行われる「郡上おどりin青山」がある。

（※郡上おどりは日本三大踊りの一つに数えられる岐阜県は郡上八幡の踊りで、7月〜9月までのロングランと8月13〜16日までの4日

間行われる徹夜踊りが有名）

濃州郡上藩青山家の江戸屋敷が港区にあった縁から（港区青山の地名はここから）、青山家の菩提寺、梅窓院の境内で行われるようになり、今では秩父宮ラグビー場の駐車場に場所を移しての恒例行事となっている。

現地の郡上おどり保存会を招き、本場の生唄演奏で踊られるという、録音音源での盆踊りにしか馴染みの無い人間には珍しい盆踊りで、様々な歌詞の面白み、唄い手による緩急自在の妙、鳴らしながら踊る下駄の響きなど、普通の盆踊りとは別種の雰囲気味わえる。

生のお囃子で、現地よりも早く郡上おどりを踊れるということで、踊り好き（郡上では「踊り助平」と言つ）が全国から集まってくる。

現地では「警報」が出ない限りはどんな大雨でも踊りはやめないらしく（全国的に盆踊りが規制された戦時下も、「慰霊のため」と称して踊っていたらしい）、それに倣って、青山でも雨天決行される。というか、寧ろ雨が降ると逆にテンションが上がるのが、踊り助平の性！

雨にも負けない盆踊ラーに倣って、梅雨のジメジメをぶっ飛ばしに、踊り会場に足を運んで見ては如何だろうか。

サウニップの とびま

第二回 梅雨とテレビ

桜は一瞬で散り、やっと暖かい日が続くと思えば先週からずっと雨。

私は目的があれば雨でも外に出られるけど、わざわざ雨に濡れるような事はしない。

こんな日はずっと家に籠るに限る。

週末の仕事帰りに買ってきたドライジンジャー、コーヒーとドーナツで準備はOKだ。

ドライジンジャーは肉厚で一口が大きいやつが良い。ドーナツはプレーン。

コーヒーは浅煎りが好き。フルーツの香りがする。深入りのを飲むときは、おやつが甘々なやつの時。

あとはお気に入りのソファにお尻を埋めて、タブレットがあれば1日を有意義に過ごせる。

タブレットは優秀だ。HuluとかNetflixとかで無限に映画やドラマが見られるし、電子書籍で漫画や小説も読める。

それに飽きたらいつも見てるニュースサイトでクリップしておいた記事を読み、気になる商品や場所があったら、それについても調べる事ができる。

民放公式ポータルサイトでは、テレビ番組だって見られる。だからうちにはテレビがない。

一人暮らしを始めてからテレビのない生活だけど、特に支障はない。というか、むしろ良かった。

なにしろ珍しいものがひとつもない。ニュース番組では知る必要のない誰かのプライベートについて薄く引き伸ばして延々と、それほどのチャンネルでもやっている。

番組内のコーナーでは、見覚えのあるネットで流行ったニュースや面白い動画とかを選んで放送してる。情報伝達速度じゃインターネットの方が早い。

コメントターも私と似たリアクションをして終わるし。テレビで見ると新しいものといえば、CMくらいかもしれない。

だから私にはテレビは必要ない。

職場にいる先輩の家にはテレビがあるらしい。実家だから家族で見るというのもあるだろうけど、Huluが見たいんだとか。

親も連続ドラマを見ているし、先輩は教育番組が好きらしい。子供向けだけど大人の方が楽しめる、と熱を込めて語っていた。

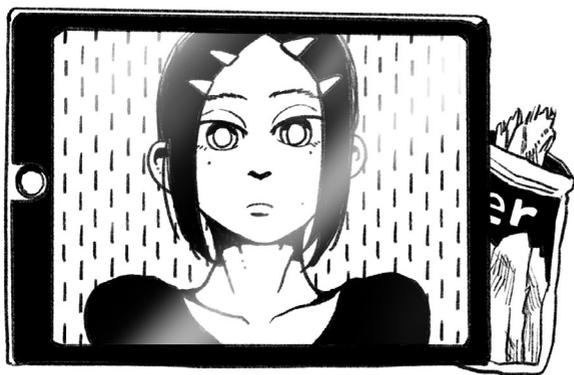
その人が好きな事柄について語る様子が、私は

好きだ。好きな人ならなおさらだ。

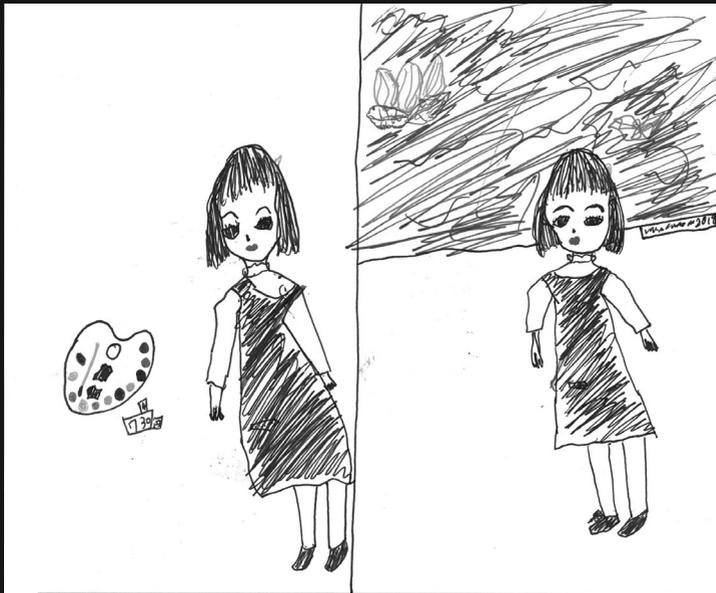
でもその番組、調べたら配信はやってないみたい。タブレットをベッドに投げて、しつこく振り続ける雨を眺めた。

翌日は嘘みたいにカラッと晴れた。

夏が来る。



鈴木レゼはるひ



温度 (午前) (午後) (夜) 40 35 30 25 20 15 10 5 0 -5 -10 -15 -20	おきたじこく 	5月3日 木曜日 	ねたじこく
	こないだ、ビュルレコレク ショウオンを見にいきました。 ビュルレコレクというのは、ビュルレせん という人が絵をたくす にあつめたことなんです。 んな絵を見てきたかという と、すいれんの糸やイレー ヌというかわいい女の子もま した。おみやげやさんで、わたしは ビュルレコレクを買って持ちました。		

名古屋観光案内 『覚王山』

ミズノツクル

私が今住んでいる名古屋の覚王山という街についてご紹介したいと思います。ぜひ頭の片隅に残しておいていただき、ご旅行や出張の際に訪ねてもらえたら幸いです。

名古屋の吉祥寺か下北沢的なスポット

覚王山という街はお釈迦さまの御真骨が納められている日泰寺というお寺がある、最近オシャレでアットオーガニックな感じのお店が増えできたスポットです。東京で例えると、吉祥寺か下北沢あたりが近いのかなと思います。メインストリートの周辺には高級住宅街が広がっており、街の雰囲気は非常に落ち着いています。名古屋で住みたい街ナンバーワン(当社調べ)。

街の特徴は毎月21日に催される日泰寺の縁日と、春夏秋冬に催される覚王山まつりです。お寺の参道沿いに出店がズラッと並び、食べ歩きはもち

ろん、ハンドメイドの雑貨や小物のお店もあり、ワッショイするお祭りというよりは蚤の市のような感じですよ。

ぜひ訪ねてほしいお店

★1 KAKUZAN LARDER

ハンバーガーのお店。私はトマトが苦手なので、ハンバーガーを注文したときにトマトを抜いてもらうのを忘れて焦ったのですが、全くトマトを感じさせない味に驚きました。輸入ビールもたくさんあります。

★2 note coffee house

スペシャルティコーヒーのお店。名古屋全体で見るとまだまだスペシャルティコーヒーのお店が少なく、その意味でも重要な存在です。9時から11時までに行けば、名古屋らしくモーニングのサービスがついてきます。

★3 梅花堂

「鬼まんじゅう」という、ぶよぶよした生地にさつまいもの角切りをゴロゴロ混ぜて蒸した、東海地方の外ではあまり売ってないらしい和菓子があります。ここが鬼まんじゅうで一番有名なお店です。

★4 BARCASK

オーセンティックバー。店内に小さな樽を置いてウイスキーを再貯留している珍しいお店です。クラフトビールもいろいろ取り扱っており、お酒好きとしては大変満足です。



最寄りには地下鉄東山線の覚王山駅。名古屋駅から乗り換えなしです。コンパクトな街ですので、小一時間もあればぐるっと回れます。ぜひお越しください。その他、名古屋への興味や質問があればぜひ筆者までご連絡を。

blowing
@gmail.com

「ある連休の完璧な1日」

渡来大

懐かしい身体の痛みで目が覚める。雑魚寝なんていつぶりだろう。

前日は渋谷でライブを見た後に、レイトショーを観て、友人とお酒を飲んで、そのままその友人宅に泊まった。ペランダでタバコを吸いながら、今日の過ごし方を考える。時間は午前9時、最寄りには東大前だっけ？

予定を詰めることより、その時の気分に従う過ごし方が好きな僕の頭に浮かんだ今日のプラン、うん、まずは朝風呂だ。

友人と別れ、とりあえず本駒込まで歩く。ずっと行きたかった銭湯、「ぶくの湯」に着いた。洒落た佇まいだ。浴場には綺麗な黄金富士が。なんだか贅沢な気分だな。なんてことを思いながら湯に浸かる。良い湯加減。幸先が良い。脱衣場にあった自販機にも感動した。コーラにカルピス、CCレモンに豊富な種類のトロピカーナ。子供の時から大好きだったジュースのオールスター。また好きな銭湯が増えた。銭湯を出るとさつきより日差しが強い気がした。まだ4月の終わりだったというのに、まるで

夏みたいだ。そういえば昨日の夜から、ろくなものを食べていない。その辺を歩いて今日初めての食事を考える。駅から少し歩いたところに行列が見えた。中華屋？名前は「兆徳」古今亭志ん朝の行きつけだったそう。落語家の行きつけっていうのは大体外れない。

予想は的中。玉子チャーハンと坦々麵のセットという自分の選択は正しかった。

しかし銭湯と坦々麵のおかげで汗が止まらない。なんとなく、電車で移動するのが面倒だ。調べてみると、行きたいと思っていた足立小台のコーヒー屋まで、バスで15分ほどで行ける。冷房の効いたバスに揺られ、未開の地、足立小台へ。

開店時間より30分ほど早く着いてしまった。荒川の土手が目の前なので行ってみることにする。大学一年生の頃に入っていたサークルのメンバーで花火をした以来だった。たしかその中に少しかげ気になる女の子がいたけれど、その子とは特に何もなく、卒業してからはすっかり疎遠になっていた。この前久しぶりにfacebookを見ると、どうやらもう結婚してるとみえた。そりゃそういう年頃か。川の流れて、首都高を走るミニカーみたいに見える車を眺めていたら、いつのまにか開店時間を過ぎていた。

そして訪れたのが足立小台のコーヒ屋「BRÜCKE」だ。

おそらく今日初めての客だったと思う。ドリッブコーヒーを注文し、このodai magazineを目当てに来たこと、編集の仕事をしていること、共通の知り合いがいることから趣味の話まで、店主と色々話した。

連休となると遠出をしたり、何かしらかの催し物に行きたくなるけれど、それでは今日のような気分は味わえなかったと思う。都内の、普段行かないような場所の、銭湯だったりコーヒ屋だったりをぶらぶらと散歩をすると、まるで自分がそこに住んでいるような錯覚に陥る。そんな感覚がとても心地よく、海外に自分探しに行くなんかより、よっぽど今の自分を見つめなおせる。

また明日から仕事が始まる。今日感じたことも日々忙殺されてきつと忘れていく。でもそれでいいんだと思う。人生についてなんてずっと考えていたら疲れる。本当に時々でいいから、こんな風に現状を整理して、なにか思うことがあれば軌道修正をすればいい。行き当たりばったりといえどそれまでだけれど、いざその状況になってみないと、自分がどうしたいかなんてわからないから。

徹夜明けの風呂上がりの幸福さ

山崎陽平

「僕が働かないのには理由があるんです。だから僕は全然大丈夫です」

「24歳、生活費や大学院の学費を全て仕送りでまかなってきた貴方が働かない理由なんてなく、全然大丈夫ではないように感じますが、是非聞かせてください」

「僕はできるだけ幸せな時間を送りたいんです」

「働いている時間が不幸せだ、ということですか？」

「いや、そうではありません。そもそも僕は働いたことがないので、それが不幸せかどうかすら分かりません」

「そういえばそうでしたね。それでは貴方にとつて不幸せな時間とはなんなのでしょうが」

「怒られてる時間です。あれはすごく嫌です」

「なぜ怒られるのが嫌なんですか？」

「まあ怒りかたにもよりますが、怒ってる人はわりと大きい声を出さじやないですか、大きい声を出すとツバが飛ぶ。ツバ。ツバは汚いって聞いたことあるんですよ」

「では静かに怒るタイプの人だったら大丈夫だと

いうことですか？」

「いや、だとしても僕怒られることに全然免疫がないんで。しかも小さい声で怒る人って逆に怖いじゃないですか。なんだお前、って小声で言われたことあるんですよ、めっちゃめっちゃ怖かったんですよ。それ以降はそういう感情向けられるとすぐ家に帰りたくなっちゃうようになりましたね」

「他に怒られたことは？」

「ないという訳ではないです。ただ学校では怒られるようなことはしなかったし、家族もお爺ちゃん以外は怒らないタイプでしたからね」

「祖父には怒られていたんですね」

「いやお爺ちゃんに怒られそうな時は、僕の心が痛まない程度の嘘をつくことでなんとかしていました」

「なるほど。では貴方にとって幸せな時間とはなんですか？」

「徹夜明けの風呂上がりの時間です」

「ニートなのに徹夜をするんですね」

「ニートだからこそ徹夜するんですよ。でも1人の時はだいたい4時間後には寝ます。徹夜は全然好きじゃないので」

「徹夜が好きではないのに徹夜明けに幸せを感じる、というのは矛盾しているように思いますが」

「僕が好きなのは徹夜明けの時間じゃなくて、徹

夜明けの風呂上がりの時間なんです。それも1人で徹夜をするんじゃないかって、友達と外で遊んで朝、まあ遅くても昼前には帰ってきて、眠いしお腹も空いているし顔も脂ぎってるしで、風呂入るってなつて風呂入って、脱衣所で体を拭いてる瞬間です」

「ずいぶん限定的ですね」

「はい。でもあの時ほど最高の瞬間はないんですよ」

「その瞬間の、どういったところが最高なんですか？」

「そう言われるだろうなって思ってたね、ちゃんと昨日考えたんですよ。お風呂で。黄色の入浴剤入れて。温泉みたいにして」

「そうですね」

「僕思うんですけど、何かを手に入れた時より、手に入れたものを噛み締める時のほうが幸せっていうか、嬉しくないですか？ゲーム買った時よりも説明書読んだ時とか。ハーゲンダッツ食べてる時よりも、ハーゲンダッツ食べたあつて思い出してる時とか」

「そうかもしれないですね」

「それと同じで僕はあの風呂上がりの時間に、ニートだからこそ有り余るほど持つてる、時間を噛み締めるんだと思うんですよ」

「時間を噛み締めてる。いまいちピンとこないの

ですが」

「二トってめちゃめちゃ時間あるんですよ。だけどあまりすぎてそれがあることが全然分らない。だから嘸み締めることができない。でも徹夜で遊んで帰ってきた風呂上がりは、時間がめちゃめちゃあるように感じるので。大量にある時間が見えるようになるんですよ」

「…人と遊んだ喜び、徹夜の適度な疲労感、風呂上がりの爽快感、これから寝ることができる安心感などが合わさり、そのように感じるのでしょうか」

「そうかもしれません。なんで時間が見えるようになるのかは考えたんですけど、かったるくなくてすぐにお風呂から出たんですよ。指先がシワシワになるの、好きじゃないんですよ」

「そうなんですか。私は別にアレに対して何か感情を抱いたことがありません」

「シワシワですか？」

「はい。え、しかも入浴剤をいれたのにすぐに出たんですか？」

「え、怒ってます？」

「怒ってないです。それではそのような充実感、時間が見えるような満足感が得たいから働かないということですか？」

「満足感が得たいから働かない。まあ、そうかもしれませんね」

「分かりました。ですが貴方は先ほどその満足感の例として、ゲームや食べ物などの、お金で買えるものを挙げましたよね。ということはその満足感というのは、働くことでも手に入るものではないのですか？」

「いや、でも働かないで手に入れることができるならそっちのほうが良くないですか？」

「貴方がかじってる親のスネはもうガリガリですよ。いつかは働かなくちゃならない。とりあえずバイトくらいはしたほうがいいのではないですか？」

「そうですね」

「もしかして働くのが怖いんですか？」

「働くのは別に怖くないですよ。ただ電話するのが怖いんです」

「電話のなかが怖いんですか？それに電話が怖いなら直接言いに行けばいいと思いますけど」

「…怒らないで下さいよ。帰りたくなってきた。帰ってもいいですか？」

「いいですけどね。帰りに履歴書くらいは買って帰ったほうがいいですよ。いつもアイスばかりコンビニで買ってますけどね」

「ごめんなさい」

「そもそも二トはハーゲンダッツ食べちゃダメなんですよ」

「すみません」

「しかも貴方スーパーじゃなくてコンビニで買うじゃないですか。なに考えてるんですか」

「もう買いません、ごめんなさい」

「帰ってもいいですけどね。買うなら働いて下さい」

「はい」

「今日はとりあえず履歴書を買って下さい。幸せだ不幸せだっていうことの前に生活があるのでですよ」

「…ハーゲンダッツはスーパーでしか買わないし、いい感じの雑貨とか洋服とかもできるだけ買わないようにします」

「それがいいと思います」

「じゃあ帰ってもいいですか」

「帰っちゃダメだなんて言ってませんよ」

「ごめんなさい。じゃあ、さよなら」

「はい、さよなら。履歴書買ってください」

「はい」

Häagen-Dazs

旬

クララ

日本には四季があります。

季節ごとに貯め頃を迎える食材があり、それらを「旬のもの」と呼ぶそうです。

旬の食べ物は安価で、新鮮で、栄養価も高く、その時期に起こりやすい体調不良をカバーする効能が期待できる成分が多く含まれています。

昨今、食材は通年出回り旬がわかりにくくなってきましたが、季節ごとの食材「旬のもの」を知り、料理に上手に取り入れながら自然の恵みをしっかり受け、四季の変化を楽しみましょう！

ミヨウガ（茗荷／みょうが）

6月から10月過ぎの夏から秋にかけての間が旬になります。

夏 ↓ 「夏みょうが」

秋 ↓ 「秋みょうが」

と呼ばれています。

食用に栽培しているのは日本だけ。日本でしか食べられない野菜のひとつです。

ミヨウガは地下に地下茎を伸ばして広がります。

地表に伸びている派がついた久喜の様ものは久喜ではなく偽莖と言われるものです。

赤い芽の様なもの、詰まりミヨウガが土から顔を出すのですが、これは花の蕾のようなものなんです。

なのでミヨウガのことを「花みょうが」と呼んだりします。

◇選ぶポイント

スーパードなどでパック売りのものは殆どがハウス栽培のもの。

「ふつくと丸みのある」ものを選んで下さい。

◇保存方法

乾燥しないようにラップか袋に包んで冷蔵庫へ。

4〜5日は持つそうですが、香りが身上の食材なのでなるべく早く食べましょう。冷凍も出来ませんが、シャキシャキ間が損なわれ、香りも弱まってしまいうので、お勧めはしません。

◇調理方法

調理方法は色々ともつけてみて下さい！

My 旬 MUSIC

Yann Tiersen

- Amelie

INO hidefumi

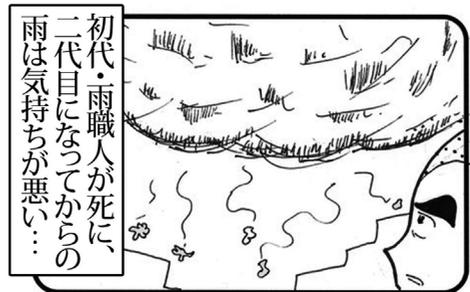
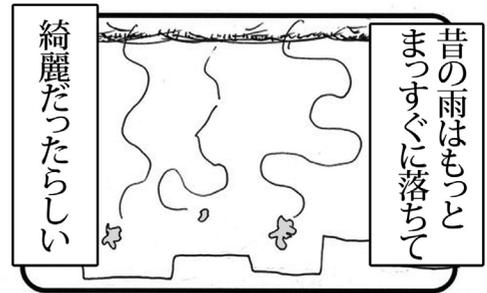
- Satisfaction

rei harakami

- [Lust]

おぎぬまXの4コマバトル道場②

雨



V S

作・おぎぬまX

押忍!!「雨」がテーマの4コマを描いたら、このページを写真に撮って
Twitterの『@oginuma_x』にDMを送ろうッス!挑戦者求む!
(前回、挑戦者が一人も来なかったのが切なくて泣いたッス…!)

橋のたもとから

梅雨です。これを書いているときは梅雨真っ盛りです。出版される頃にはもう明けていたりするのでしょうか。そろそろ盆踊りも始まります。郡上おどり in 青山が踊り初めになるかと思えます。去年は骨折して全然盆踊りに行けてないので今年は沢山行きたいと思っております。

時間にゆとりを設けても編集が遅れてしまうということは仕方ないことなのかもしれませんが、今回は非常にタイミングのいいものを考えさせられました。小台にまつわるエトセトラに関しては今回誰にもお願いできず、ひとりで小台にまつわる怖い話みたいな文を書くに至りました…。

ただ、今回は突然メールで寄稿いただいた方もいて、オダマガの今後の可能性を感じました。ありがとうございます。

ところで、前号で言っていたポータルランド行きが決まりました。と言ってもチケットを購入しただけで、パスポート切れてこないだ申請したので後日受け取り、アメリカ入国に必要なESTAの申請、向こうでの宿とかやることの手配などなどやることはまだまだ残っていて、6月中に消化しておきたいところです。

個人的なことはこのくらいにして、店ではpopoioというサービスを利用した上映会が始まりました。第四土曜日なのでチェックしてみてください。あと7月はライブ企画がいくつかと、かき氷も始まる予定です。

ブログは今後いつ更新されるだろうという感じになってしまっていますが、店でやる催しの予定はこまめに更新しているのでもしも気になればHP (odainucke.org) を見てみてください。オダマガバックナンバーも読めます。寄稿してみたいという方はメールなどでお送りください。お待ちしております。

「こんな顔」 in 小台

玉坂めぐる

ブリュッケ近く「南宮城公園」の端っこにいる「そうこさん」。消防団の倉庫さんです。



小台マガジン 20

2018年 6月

編集 ブリュッケ

印刷 プリントパック

おかむらあいこ (紙ソムリエ)

 @aiko_okamura

おぎぬま X (マンガ家)

 @oginuma_x

クララ (ベコ飼いたい何でも屋)

栗原論 (店主のパイセン)

斉藤 友秋 (作曲家)

 @saitosaitama

サトウテッペイ (週末イラストレーター)

 @bone_tep

鈴木 雄平 (盆踊ラー)

鈴木 レゼ はるひ (小学生)

玉坂 めぐる (「顔に見えるもの」の収集家)

 konnakao.blog96.fc2.com

DJ 半額 (ひみつ)

ミズノツクル (フリーランスなんでも屋)

 @tsukurumizuno

山本 千晶 (potatopotato)

 @potatopotato_mo

山崎 陽平 (ニート)

渡来 大 (編集者)

 @D_lion6

杉浦 俊介 (店主)

 @hashi_to_coffee



BRÜCKE

odaibrucke.org